

# 景況レポート

(9月分・情報連絡員 80名)

## 収益状況は依然として厳しい

【概況】9月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが12.5%(前月調査13.8%)、「悪化」が41.3%(同46.3%)で、業界全体のDI値は-28.8となり、前月調査と比較し3.7ポイント上回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-25.0で前月調査(-28.2)に比べ3.2ポイント上回った。また、非製造業全体のDI値は-31.3で前月調査(-35.4)に比べ4.1ポイント上回った。

9月の数値は全体的に上向いたが、非製造業では、エコカー補助金の終了による新車販売台数の減少、円高や中国漁船事件の影響による外国人客の減少、異常気象による農産物の価格の高騰等により、収益・資金繰りが悪化しており、回復は感じられない。

(回答数:80名 回答率:100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔
非製造業	☔	☔	☔	☔	☔	☔

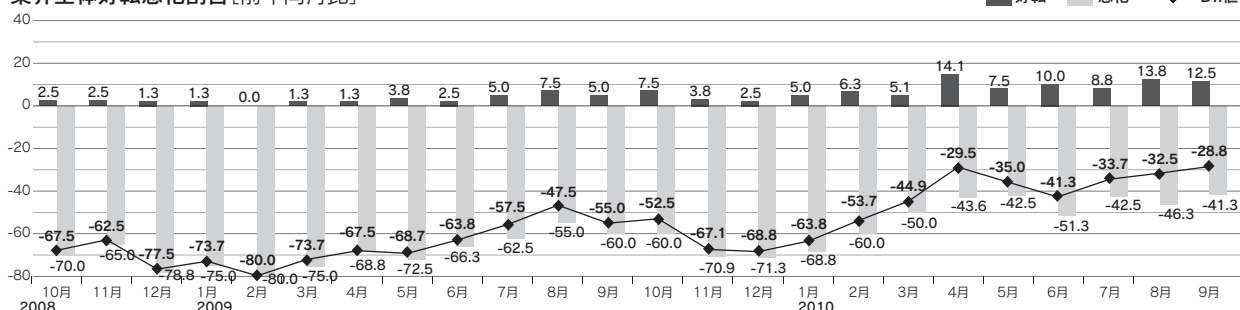
【凡例】

☀️	☀️	☁️	☔	☔
快晴 30以上	晴れ 10以上 30未満	曇り △10以上 10未満	雨 △30超 △30以下	雷雨

【天気図の見方】  
前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index (ティフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



### 業界の声

パン製造	暑さのため上旬は売上不振が続いていた。中・下旬、気温が下がると共に売上が少しずつ回復して来たが、前年には届かない。
麺類製造	秋冬商品(温麺)に切り替える時期だが、動きが悪い。残暑で、夏物商品が若干動いた。
繊維製品	中国経済の上昇により、加工賃が高くなったため、他国へシフトできない分が国内生産に戻りつつある。秋冬物に関しては追加も期待できる。
一般製材	乾燥材、集成材が堅調に推移しており、繁忙感がある。製品価格に変化はないものの、原木が値上がり気味であり、採算はやや悪化している。
プレカット	個人住宅の受注は前年同月比で20%の減少であったが、幼稚園やショートステイ等の大型物件があり、昨年並の受注を確保できた。
鉄鋼	小規模ながら公共物件の耐震補強工事等が発注され、工場稼働の支えとなった。
自動車販売	9月の新車販売台数は、登録自動車2,104台(前年同月比75.6%)、軽自動車1,971台(同96.2%)で、合計4,075台(同84.3%)であった。国の補助金の終了が近づき駆け込み需要があったが、全国で4.1%減少となり、14ヵ月ぶりに前年割れとなった。
石油販売	ガソリン1ℓ当たり132円で前月比1円引き下げ、軽油1ℓ当たり112円で前月と変わらず、配達灯油は18ℓで1,413円と前月比29円の引き下げとなった。8月に続き出荷が好調であったが、9月後半から市況軟化の傾向が見られる。
クレジット	【鹿角市】物販のカード利用は回復しつつあるが、総量規制の影響で融資額が落ち込み、間接的に個人消費の低迷に繋がっている。
電機販売	県内のテレビのデジタル化はデータ上80%を超えたが、一世帯の2~3台目は未知数であり、予想を遙かに上回る駆け込み需要が期待できる。暖房機の出足も良い。
商店街	【秋田市】家電販売は引き続き好調だが、一部消費者に買い控えの傾向が見られる。 【鹿角市】農家においては減収が噂され、消費者の財布のひもがまた一段と固くなった。 【大館市】高齢化により9月末で閉店・廃業する加盟店があった。他にも同じような状況の店舗があり、対策に迫られている。
電気工事	【秋田市】新築一戸建住宅が回復傾向にあり、企業規模や工事の種類によるバラツキはあるものの、総じて忙しくなってきた。